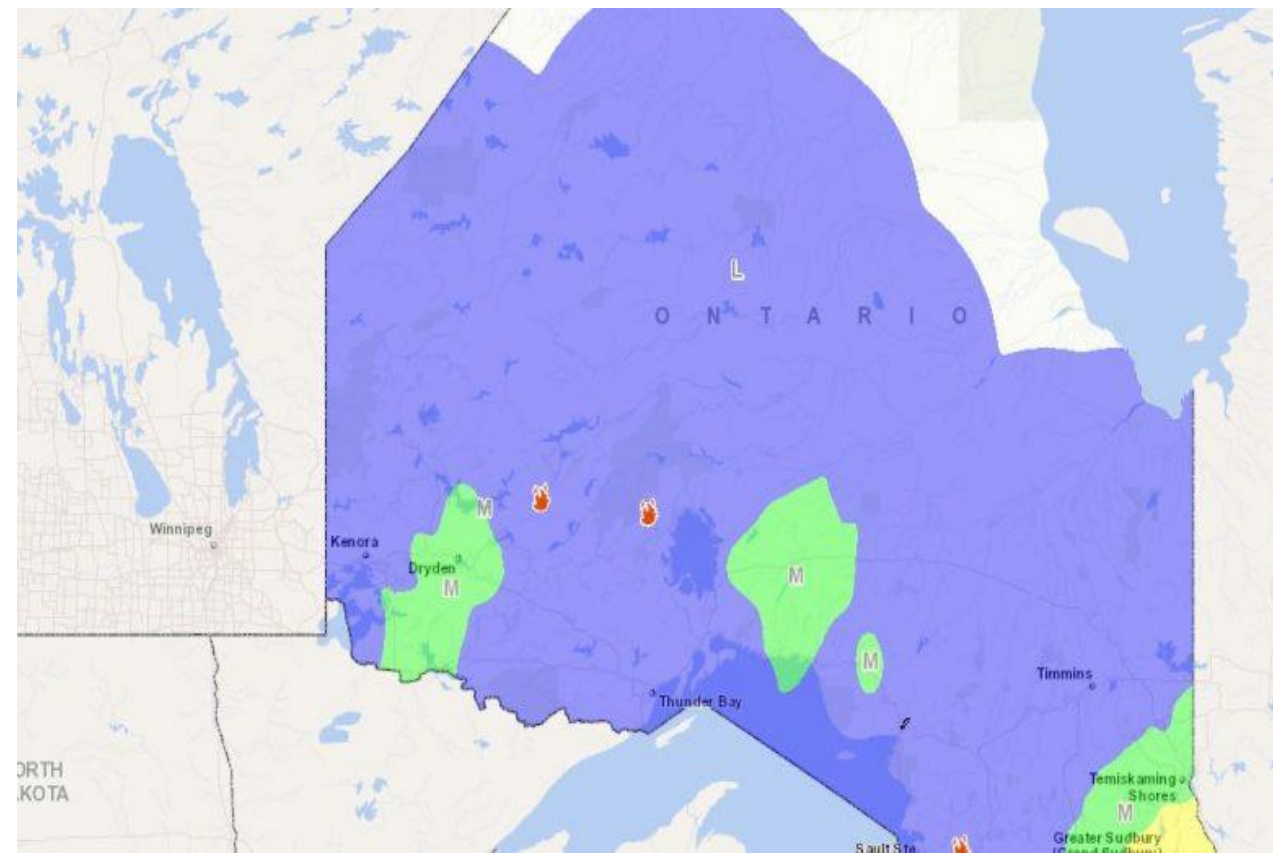


ここは、英国王室と当地域の先住民の間に1973年に締結された条約第3条の署名者である、オジブワ族「オビシコカング」(ラック・セウール)ファースト・ネーションの先住地であることを認めます。

カナダの遠隔コミュニティに おける先住民の精神保健福祉

ジョイス ティンプソン
リディア シャーマン
サリー バンティング

カナダ：1,000万km²に4,000万人
オンタリオ州：日本と同等面積に1,000万人
オンタリオ州北西部：日本の面積の1/3、飛行機
のみでアクセス可能な32コミュニティに3万人



Source: Canada – Ilike2learn.com; Northwest Ontario – CKDR.net/news

私たちがいる場所：スー・ルックアウト、 大自然の中に6千人、北部の拠点



Source: Municipality of Sioux Lookout

南部にオジブワ族、北部にクリー族の人々。中間地に「オジ・クリー」の人々、言語も同様。



Source: Sioux Lookout First Nations Health Author

飛行機でアクセスする典型的なコミュニティ:
人口は50人~3千人



Source: Photographs taken by Joyce Timpson

カナダの先住民の多様性： 多数の民族、多数の文化

ファースト・ネーション(旧名インディアン)：約100万人、70言語。50%は「保留地」(政府指定の地区)在住、その他は都市部在住。

イヌイット：北極圏に約7万人。

メティス：約70万人の多人種の人々。

歴史：ヨーロッパの航海者がインドや中国までのより短い海路を求めて1500年前後にアメリカ大陸の東海岸に到達。



[Christopher Columbus – Facts, Voyage & Discovery | HISTORY](#)

白人の航海者が肌の色が異なる人々と出会い。インドに到着したと思い、「インディアン」と名付け。「先住民」の方がより適切。



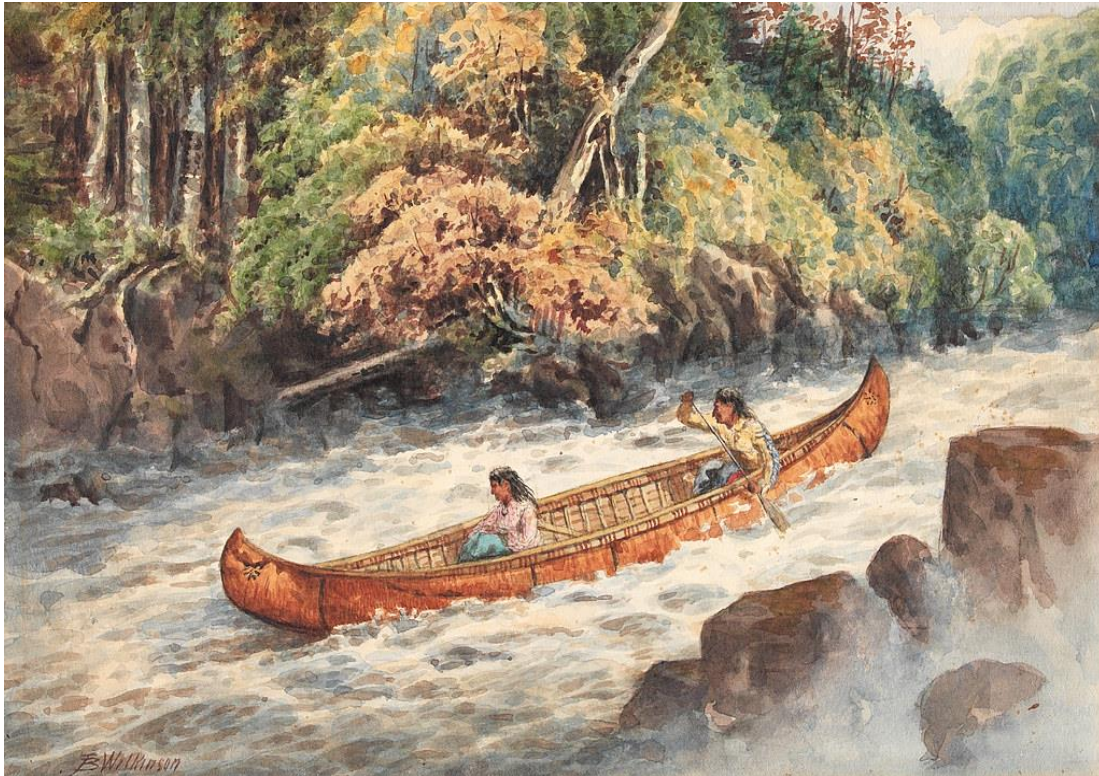
先住民は野蛮人としてみなされた

この見方が白人社会への同化と従来の文化の破壊を促す行政政策に影響。先住民の儀式も禁止された。

接触以降、北方の様子が急変

過去と現代の移動手段

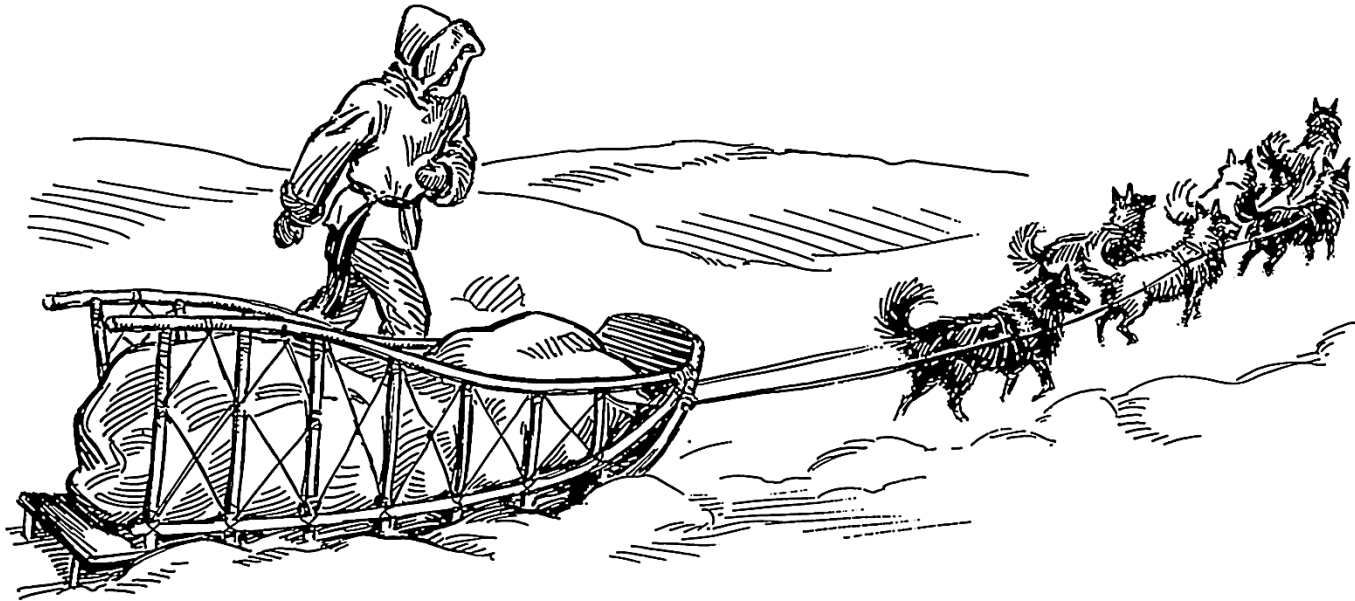
Source: flickr.com;



Source:Publicdomainpictures.net



過去と現代の移動手段



theworkofgodchildren.org; <https://www.toyota.ca/toyota/en/vehicles/tacoma/>
Snowmobiles –photograph by Joyce Timpson

過去と現代の住まい

以前、樺皮の素材でできたティピー

Source: Unmarked source



現代の建物

Source: Joyce Timpson



今日の北方は伝統的と新しい生活様式 のミックス。多くの土地固有の慣習と 技術のある現代生活

ヘラジカ肉の調理準備



ビーバーとホッキョクグマの皮干し



アンテナ



Source: All photographs taken by Joyce Timpson

急速な変化、多くの喪失、失敗した政策による精神保健福祉課題

健康の社会的決定要因・ファースト・ネーションの人々に全て当てはまるが、特に「*」について言及

収入の社会的地位: 多くの人々が公的扶助を受ける

雇用と労働環境: 失業率が高い

教育と識字: 70%は高卒

***医療へのアクセス: 長距離**

***子ども時代の経験: トラウマ**

ジェンダー: 女性の脆弱性

***文化と人種 / *人種差別: 文化に対する理解不足と政策における違いへの配慮の欠如**

精神保健福祉課題は支援を目的とした 植民地支配化の政策の失敗に由来

- 結核流行と新しい伝染病の発生
- 寄宿制学校
- 以前アクセス不可能であった州サービスの保留地への拡大：教育、児童福祉、公的扶助

結核

20世紀初頭：結核の流行。多くの人々が数百マイルを超えて特定病院まで航空移動、場合によっては数年間も不在。多くは死亡し、遺体は葬儀のため返還されず、未解決の悲しみの原因に。

古式の水上演行機



スー・ルックアウトの古病院



Source: Float planes: pixneo.com; Hospital: slmhc.on.ca/about/our-history

糖尿病の浮上

土地から得た植物と野生肉から高炭水化物と加工食品への食生活の劇的な変化により、糖尿病の有病率が極めて高い。

貧困と質の良い食品の高い値段も原因の一つ。

糖尿病による切断、視覚障害、若年死亡。

教会運営の寄宿制学校

1880年代～1960年代：15万人の子どもが家族やコミュニティから、数百キロ先の教会運営の寄宿制学校へ強制分離。目的は同化と先住民文化の破壊。

1960年代以降の出席は自主的であったが、結果は同じ。

教会運営の寄宿制学校



ca.images.search.yahoo.com/yhs/schoolsofsorrow

Above: Pelican Residential School, Wikipedia



Bottom: left and right kathleenjonesblogspot.com

寄宿制学校における経験は今日の精神保健福祉に深刻な影響

- 子どもは脆弱な年齢(場合には5歳)に分離、場合には夏休みにのみ帰省、多くは数年間も帰省できず。
- 到着次第、散髪され、消毒され、白人風の洋服を着せられた。
- 母語を話す際は体罰等の対象に。

寄宿制学校による危害（続）

教会は先住民のスピリチュアルな習慣を悪者扱い。多くのファースト・ネーションの人々がそれを否定。

多くの子どもが一生のトラウマ体験に：残酷な体罰、聖職者・職員・他生徒による性的及び身体的な虐待。

帰還した子どもたちは：

- 伝統的な生活様式と母語を知らなかった
- 自分の文化、父母、祖父母との関係維持が困難に
- 学校内の悪い見本のため、正しい子育て方法の再学習が必要に

1965年：以前アクセス不可能なサービスが先住民コミュニティに拡大

多くのコミュニティは、教育などの行政サービスの提供しやすさのため、伝統的な先住地から新しい居住地に移住させられた。

一部のコミュニティは、水力発電会社がダム建設に当たって先住地を沈没させたため、強制移住を余技なくされた。

強制移住は自然な親戚関係のあり方を妨害。自然な生計手段のあり方と土地における狩猟と採集の仕方に悪影響。

1965年以降の福祉受給資格

先住地からの強制移住は、狩猟・捕獲・採集のような伝統的な生計手段の後退をもたらした。

以前、先住民に対して拒否された福祉支給は提供されるようになり、多くの先住民の人々が彼らの文化を破壊した主要因として考えている。

ある世代のトラウマは次に受け継がれる。
先住民は行政政策の結果として多くのト
ラウマを経験。これらの影響は今日の世
代に及ぶ。

世代間の影響

強制移住や寄宿制学校の多世代トラウマ は性的暴力などのその他の虐待につながり、 以下の問題が顕著

自殺: 先住民の若者はカナダ平均より5～6倍高い

依存: アルコールや近年は薬物

児童養護: 先住民の子どもは全体の50%以上

拘束: 先住民はカナダ人口の4%が、囚人人口の27%

殺人被害や行方不明の先住民女性: 先住民女性に対する暴力

Sources: Suicide: Canadianencyclopedia; Children in Care:,
<https://www.ohrc.on.ca/en/interrupted-childhoods>; Incarceration: Department of Justice

多くの喪失と未解決の悲しみが現状 へ与える影響

自殺は全コミュニティにとってのトラウマ体験。例えば、
(血縁でつながっている)500人程度のコミュニティにおいて、
40年間で30人の若者を失う悲しみ。

自殺はしばしばクラスターで、場合によっては連日発生。

現状（続）

オピオイド依存は極めて高く、コミュニティによっては成人人口の75%。*

重複する複雑な喪失及び虐待体験によって、一部の先住民の人々はPTSDの慢性状態にいるような見方も。

*Source: Joyce Timpson and Karen O' Gorman, "Community Based Options for Addressing Opioid Abuse in Remote Northwestern Ontario First Nations, Consultation and discussion paper prepared for Health Canada, First Nations and Inuit Health Branch, May 2010

精神保健福祉課題のまとめ

しばしば同時発生の重複する喪失体験：原因に疾病、親世代の喪失、事故、溺死、飛行機事後など

殺人や自殺のような悲劇に関する喪失体験

未解決の悲しみによるさらなる喪失や悲劇が次世代に受け継がれる

諸課題への対応

文化に特有のアプローチの必要性

1980年代：諸課題への新しいアプローチに向けて、
サービス提供が先住民団体に移行*

現在、保留地におけるファースト・ネーションの人々への
精神保健福祉等の社会サービスは先住民が自ら管
理・運営。

Source: Timpson, Joyce. *Indian Mental Health: Changes in the Delivery of Care in Northwestern Ontario*, Canadian Journal of Psychiatry, April 1984.

文化や言語に対する知識不足のため、 改革が不可欠に

非先住民のワーカーは、文化特有の現象を統合失調症などの深刻な精神疾患と誤解（実際は複雑な悲しみなどの人生経験に対する反応）。*

*References: *Timpson, Joyce et al. *Depression in a Native Canadian in Northwestern Ontario: Sadness, Grief or Spiritual Illness?* Canada's Mental Health, June/September 1988.

児童福祉や精神保健福祉、その他のソーシャルワーク現場では、主流のサービス機関内に先住民専用の事業が導入

準専門職（パラプロフェッショナル）モデルの採用：
児童福祉及び精神保健福祉機関においてソーシャルワークや精神保健福祉サービスを提供するために、対人援助経験をもつ先住民当事者の伝統的な支援者がOJTを受けた。

サリーとリディアは当地域における最初の 先住民当事者ワーカーの二人で、かつ地域 内で活動歴がおそらく最長

専用の机で作業中のリディア



サリーと長老コミュニティワーカーの故エテル・タートル氏



Source: Pictures taken by Joyce Timpson mid 1980s

先住民ワーカーが配置された後：

- 母語によるソーシャルワーク・サービスを受けることが可能になり、ワーカーにもっとトラウマを話すようになった
- 非先住民ワーカーはしばしば症状を精神疾患とした誤診していたが、先住民ワーカーはこれらの症状を生活上の問題における反応の多様な表れ方として認識した
- 児童福祉ワーカーは保護する子どもにとって以前と違う環境を整備できるようになった

主要なアプローチ

先住民によるサービスの管理・運営上の決定権と設計が不可欠

世代間の影響への配慮

トラウマ・インフォームド・アプローチ

回復のための文化の活用

ナラティブ・アプローチの活用

教育の管理・運営上の決定権

保留地やスー・ルックアウトのように先住民人口が多い地域の
公立学校では先住民の母語の伝達

若者に狩猟や漁業のような生きるための伝統的な生計手段
の伝達

過去の過ちを是正する 行政政策の変化

老朽化した建物の代わりに新しい 先住民デザインの施設

これから：インディアン・ゾーン病院



これへ：メノヤウィン保健医療センター



先住民当事者の管理・運営化の 教育を強く推奨

寄宿制学校の跡地に立つ現代の学校。生徒は北方よりスー・ルックアウトまで移動し、サポートしてくれるグループホームで生活

これから:



これへ:



Pelican Falls High School Images

先祖の教えの復活と伝達

パウワウ踊り



Source: [youtube.com/watch?v=XZYoeqyx10A](https://www.youtube.com/watch?v=XZYoeqyx10A); Taken by Joyce Timpson

野生米の調理



長老が子どもに教える



[This Photo](#) by Unknown Author is licensed under [CC BY-ND](#)

伝統工芸を含む



Photo taken by Joyce Timpson

行政による近年の取り組み

真実和解委員会：寄宿制学校と文化の剥奪の過ちを是正するために97の勧告

家族及び文化から寄宿制学校や非先住民の児童養護や養子縁組に分離された被害者への賠償

殺人被害や行方不明の先住民女性・女子に関する調査

寄宿制学校で死亡し、遺体が返還されなかった子どもたちの遺体を探し、返還する取り組み

先住民向けの社会サービスの全体的な管理・運営権の拡大

先住民の民族運動

行方不明者・殺人被害者対策の要求



先祖のためのデモ行進



健康の社会的決定要因、貧困やその他の格差への対応策

経済開発：雇用・貧困・住宅問題に対応するために先住民企業の促進、既存企業のファースト・ネーションによる買収

先住民が管理・運営し、先住民スタッフが配置されている依存症治療センターの推進

対応策（続）

犯罪行為に対する多様なアプローチ等の対応策

都市部における住宅政策

医療専門職などの対人援助分野における教育機会
会の向上

先住民の精神保健福祉課題への対応に向けて、行政と先住民の連携が欠かせない



Sources: en.wikipedia.org/wiki/Plymouth_Colony; parklandinstitute.ca

ミーグウィッチ (オジ・クリー語の感謝) ARIGATOU



Source: [Shapingyouth.org](https://shapingyouth.org)